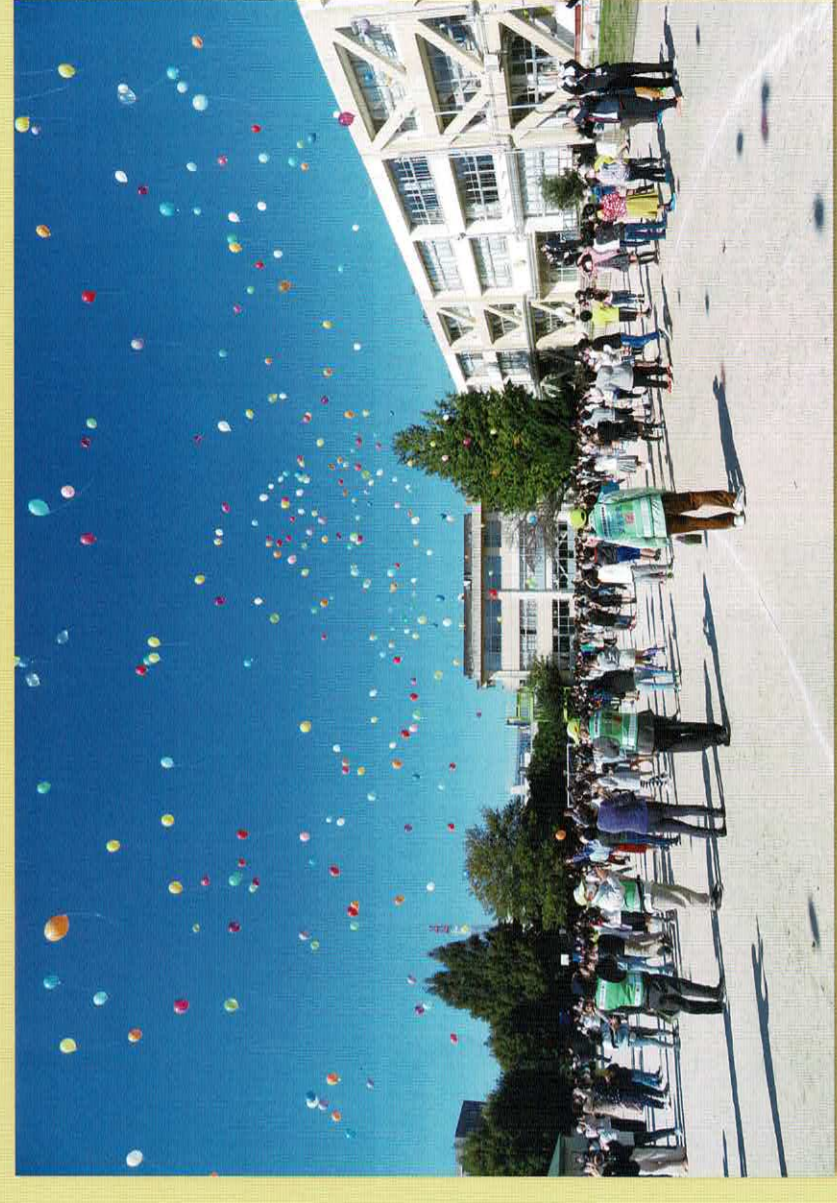


カラフル 希望をのせて碧空へ
 南部小学校独立80周年記念式典にて



本庁地区社協写真コンクール大賞 染井隆重(小山)

評：カラフルな風船があまりにも紺碧の青空に浮かび、希望に満ちた未来を謳います！

地域の皆さんの絆の維持増進に苦心の年

本庁地区社会福祉協議会 会長 伊能重憲

紅梅のつぼみも膨らみつつある昨今、ステルスオミクロンの出現もあり、感染者数等は「過去最高」の日々が続ぎ、本市も例外ではない。対応策も、一億総評論家、総発信者の世は根拠のない情報もあり混迷。里山の生活や気遣いが懐かしい。

皆様の日ごろのご理解ご支援に衷心より感謝申し上げます。本庁地区社協もコロナ感染予防第一に終始した。本年度も、各部長を始め部員の皆さんは地域の皆さんの巣ごもりの解消や絆の維持増進に苦心した。昨年末はその一部が実施されたものの計画の多くは縮小または断念の結果に終わった。会員や関係機関への中止の連絡にも多くの労を費やした。この飽くなき挑戦の労を多とし、本来の活動に生かされる日の一日も早い到来を懇願して止まない。

お互いに「会えてよかった日」のために、予防対策励行の下、精進の日々でありたい。

令和四年二月一日記

《今号の内容》

- 会長挨拶 伊能重憲……………1
- 写真コンクール入賞作品……………2、3
- 地区社協活動ア・ラ・カルト
ふれあい会食会 ふれあいサロンだらん……………4、5
- 地域の学童見守り活動……………6、7
- 皆様からの投稿 伴可短歌、川柳など……………7
- 地区社協各分会の伝言板……………8

第9回 本庁地区社協 写真コンクール入賞作品



広報部会長賞 租光院 曼殊沙華 ひまおじさん (陣ヶ前)
評:彼岸花とも呼ばれる曼殊沙華。朱色の鮮やかさがまるで天国にいるようです

本庁地区社協写真コンクールも今年度で9回目を迎えました。回を重ねるごとに応募者、応募点数ともに減少傾向となっていました。今年度は応募点数も増え作品のレベルも上がったと思います。応募23作品から、地区社協役員10名と広報部会5名による審査の結果、大賞から佳作まで11作品が選ばれました。誌上で発表掲載するとともに、地区社協事務所前に掲示いたします。

入賞者の皆様には、ささやかながら表彰状および景品を贈呈いたしました。



本庁地区社協会長賞 紺碧の空と秋桜 九州男児 (陣ヶ前)
評:見事な碧空と色鮮やかな秋桜畑の対比が見事に溶け合っています。



特別賞2 柳原水閘 朝の景 遠藤憲樹 (小山)
評:松戸には素晴らしい景色があることを再認識させてくれる作品です



特別賞1 地下道で 青木慶子 (納屋川岸)
評:構図といい、モデルのポーズといい素人の域を超えているようです



アイデア賞2 「丸窓?」の向こう 久和正寿 (松戸山下)
評:こんな窓どこにあるの?不思議な構図です。種明かし。ペットボトルの底をくり抜きカシヤツ!



アイデア賞1 菜の花と「新幹線?」 遠藤憲樹 (小山)
評:タイトルのとおり、一見「あれっ、新幹線?」と思わせる絶妙の構図です!



ダンスパーティー 花乃夢子 (陣ヶ前)



夏越しの大祓 茅の輪くぐり 久和正寿 (松戸山下)



花蜜を吸うヒヨドリ 花子 (本庁地区区内勤務)



雨蛙と菖蒲 矢切洋子 (本庁地区区内勤務)

サロンだんらん部会 11月9日(火)・12月7日(火)

新型コロナウイルスの急減にもかかわらず、11月から再開された「サロンだんらん」。12月7日、この日は年内最後の開催でした。クリスマス会が開かれ、寒空のなか市民劇場の会場には16名が参加されました。部会長の平井さんの司会で始まり、伊能地区社協会長はじめ、市社協の担当者、包括支援センターのセンター長佐藤紫さんと職員の出演者、堀光井史枝さんからゲストの紹介。この日のマジックショーの出演者、堀光知、悠紀子夫妻(三丁目東)の紹介がありました。



本庁地区社協 活動ア・ラ・カルト

会食部会 10月10日(日曜)市民会館 301

会食の替わりに弁当配布や体験企画

会食部会は、コロナ禍のなかでも市民会館301号室でのランチを会食形式ではなく、弁当の配布を実行してきました。参加者には市民会館まで取りに来ていただき自宅まで召し上がっていただくことも、対面して配布することで皆さんの元気な姿を確認することもできました。

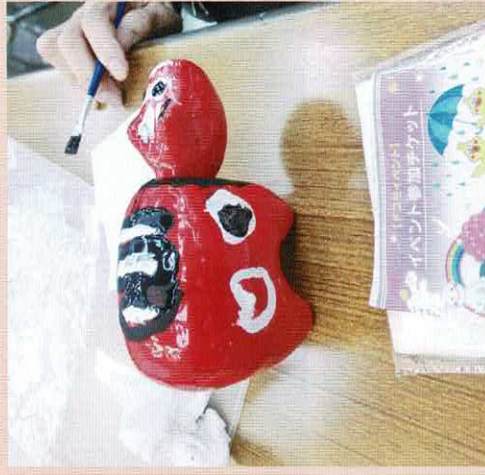
10月の配布は市民会館の調理室の利用ができず、弁当の調理ができませんので、会食のない企画を計画しました。



会津をバーチャル体験! クリスマス 赤べこの絵付け体験

松戸市内の旅行代理店ホーユープランさんの企画協力で、福島県会津地方の観光地を映像で体験し、当地方の名物「赤べこ」の張りぼてに自分だけの絵が塗れる絵付けを体験することになりました。

まずは映像によるバーチャル旅行を楽しみ、その後参加者一人ひとりに絵付けのキット(赤べこの張りぼて、アクリル絵具5色、絵筆)一式が用意され、動画による絵付けのお手本を見て準備完了。



世界にひとつの 赤べこが出来上がる!

すぐに絵筆を走らせる人、じっくり構想を練っているのか、赤いのべらぼうの張りぼてと、にらめっこの人もいます。ふだん絵筆を持つことがないせいか、恐る恐る手を動かしている人も。時の経過とともに絵付けが進むよう



になりました。20、30分ほどでほとんどの人が完成させました。どれ一つ同じものはありません。個性豊かな赤べこが36体完成しました。

「会食」のない会食部会でしたが、久しぶりに集まり、皆さんと一緒に体験することによりコロナで沈んだ気分を明るくするのに役立つたのではないのでしょうか。

ご参加ありがとうございました。



新年1月16日(日)のお弁当

マジックショーと ビンゴ大会 Xmas

始まりは、包括支援センター生井さんの指導で椅子に座ったままでできるストレッチで身体と心を充分にほぐしたあと、いよいよ堀光知さんのマジックショーの幕が開きました。

カットしたはずの紐が数珠繋ぎに丸めた新聞紙に数か所ハサミを入れてつまみ上げればツリーにペンシム。細くカットした紙を井に入れお湯を注げば、なんと本物のソーメンに、これには参加者も驚きの喚声と拍手で応えていました。ゆつくりリズムのショーに皆さん大喝采でした。

お次は、お楽しみBINGO大会。スタッフの用意した賞品めざして、出

た目数字とカードでにらめっこ。参加者全員がビンゴで幕を閉じました。最後に可愛いケースに入ったお菓子をプレゼントされ、会場を後にしました。

クリスマス飾りを 手作り

コロナ禍で、中止になっていた「サロンだんらん」が徐々に開催され、あいにくの中、多くの方が参加いたしました。

『クリスマス飾り作ろう』を準備して下さったボランティアの皆様方に、心より感謝いたします。お陰様で、私は童心にかえり、楽しく作らせていただきました。周りを見ると、どなた様もいきいきと取り組む様子がみられました。きこく、家々に飾られて、心を和ませている事と思えます。

そして、この会で皆様に出会えた事嬉しく思います。ありがとうございました。

磯谷ヨシエ



(上3点、12月7日)

だんらんに 思う

「おひさしぶりね、お元気でしたか」こんな挨拶で始まるだんらんは、私達高齢者にとって笑顔で話しあえる楽しい集りです。でも今はコロナ禍で、人々は距離をおいて、声も静かに前を向いて坐らなければなりません。きびしい制約のもと、ことに淋しい限りです。役員の方々もいろいろ工夫されているようですが、少し感じた事を申しますと、多くの資料をいただいて説明をうけるのもよいですが、こもりやすい私共は、これに打ち勝つ何かよい工夫をしているのではないかと思います。皆さんの体験談を語り合ってはどうかでしょうか。今までは自己紹介から始まって合唱や、季節にあつた工作、歌謡クイズ、映画、その他数多くのためになる行事があり、係の方に大変感謝しております。一日も早く楽しい楽しいだんらんになるように願っております。

金澤たづ子(94歳)



サロンだんらん作品 (上2点、11月9日)

児童に声掛け、弾むあいさつ！

中部小
スクールガード

腕章を付け黄色い旗を持ったガードさん、車の行き来する中、児童達に声掛けしながら、安全に誘導しつつ、話しかけてくる子どもに笑顔で対応する様子は、楽しい雰囲気でした。

しばらくすると校長先生も出てこられて大きな声で挨拶を交わし、元気な一日の出発でした。

〈斉藤校長先生のお話〉

「スクールガードの皆さんには、心から感謝している。大変なことを毎日続けてくれて児童達の安全が守られています。このことを地域の皆さんにも知っていただいでご理解ご協力を期待しています」



スクールガードの方の話によるとメンバーは4人、11箇所で見守りを行っているそうです。活動報告や問題点などを話し合うため年2回会議を開いているそうです。

メンバーは、PTA、一般の人、安全協会の人、町会役員など、学校からの募集に応じた方々で構成されています。



私たちの 我々の子見守り隊

「ありがとうございます」
が喜び！

南部小
交通安全推進隊

小山地区にある南部小学校周囲の路地はほとんどが一方通行ですが、朝の通勤通学の時間帯（7時45分～8時30分）は皆急いでおり、車も自転車も頻りに往来して、児童の登校時は危険と隣りあわせです。

「車を止める」「子どもを止める」



隊員各自の判断で児童の安全と事故防止に智慧を絞ります。「いつも最後に来る子」が無事に学校に入るのを見届けるまで気が抜けません。

早朝なので朝が苦手だった女性隊員の方は、町会のためになるならとやり始めたら何とか起きられるようになったそうです。今では子ども達や保護者さんから「いつも有難うございます」と声を掛けられることが何よりの喜びと語っていました。

〈村上記〉



数人のスクールガードさんに応募の動機と感想をうかがいました。
「孫が入学したので応募した」
「子どもが大好きなので関わりあいたかった」
「社会活動がしたかった」
「やりがいがある」
「子ども達との交流がとっても楽し

い。子ども達も喜んでる様子だ」「元気がなまそうな子に話しかけて励ましたこともある」

このような学校と地域の方々による活動を取材して、子ども達の成長を見守りつづけるカードさん達にはあらためて頭が下がる思いでした。

〈中山記〉

子らの成長を見守る幸せ

柿ノ木台小
交通安全推進隊

柿ノ木台小の登校時、児童の見守りには三矢小台地区の男性3名と陣ヶ前の女性2名が参加されていますが、その中のお一人陣ヶ前自治会の伊澤佐登子さんにお話をうかがいました。

「柿ノ木台小交通安全推進隊」への参加は孫が入学した時でした。孫の登校時に見守りをとの思いで続けてもう13年になります。

朝、子ども達から「お早うございます」と元気に声をかけられたり、地域の方々とかわす挨拶にしあわせと元気をいただいています。今年にはコロナ感染が広がるなかでも先生方のご苦勞で恒例の行事も無事に行列、校外学習の当日、バスの中から満面の笑顔で手を振る子ども達に「良かったね！いっぱい楽しい思い出を作つてね」と心の中で声をかけ、感激で胸が熱くなりました。

小さな二年生の入学時からたくましく成長した六年生の卒業までを見守ることの出来る幸せに感謝し、できうる限り続けたいと思っています。

〈伊澤佐登子：談〉



教員から 交通安全推進隊へ

私は、6年前に教員の仕事を定年退職しました。他県に勤務していたので朝早くに家を出て、夜遅くに帰宅するという日々でした。

振り返れば、近所や地域の方々にはお世話になったことばかり思い出されます。専業主婦となつた今、「出来る時に出来ること」をして社会に貢献できたらと思い、最初に始めたのが「柿ノ木台小学校区の交通安全推進隊」で活動することでした。朝のすがすがしい空気と共に、しゃきつとした気持ちになり一日がスタートします。「気をつけて横断してね。元気で帰つてらっしゃい」こんな思いをこめて、黄色の横断旗を出しています。

朝の短い時間ですが、再び子どもたちと関われたことは私の喜びであると感じています。

吉野とし子（陣ヶ前自治会）



投稿コーナー

俳句

秋閑けて 糺祭りを 懐かしみ
風寒し フレイル予防の 歩み哉

（陣ヶ前）
米長 夢 忽

短歌

草亀を 一匹飼えば 憐れにも
吾が手に懐つく 寂しき故へか

（陣ヶ前）
米長 夢 忽

川柳

満月が 満期に見える お年寄り
ひと癖も ふた癖もあり 主なり
ソムリエの 知識を借りて 旅にでる
習慣が ついっかりを 遠ざける

（小山）
服部 迪夫

※広報部では皆さんの俳句、短歌、川柳、ショートエッセイの投稿をお待ちしております。

本庁地区社協 各部会の伝言板

今年度(令和3年)も、地区社協の各部会の活動計画の多くが新型コロナウイルスの影響で延期や中止となりました。今号(37号)の発行時にコロナの新株オミクロンの感染拡大が沈静化しているかどうかは霧の中と思われず。各部会からのメッセージです。

●会食部会 部長/望月洋子

「会食」からお弁当配布へ

コロナ禍の中、ふれあい会食会はお弁当の配食で行いました。その中で皆さんに少しでも喜んで頂ける様な工夫をしました。①使い捨てマスクとメニューを付けた。②お弁当箱のふたに必ず本日中に食べて下さいとのお願いと共に、部長及び委員からのコメントの添付。③日帰り旅行に替えて「福島地方の映像と赤べこの給付体験」です。

●健康増進部会 部長代理/竹内孝子

皆さんの期待に添えず残念!

コロナ禍のなか、健康増進部会は昨年度(令和2年)に続き予定していた行事は中止せざるを得ませんでした。春のウォーキングフェスタ、秋の市民運動会(本庁地区会共催)の二大行事は楽しみにしておられる人が多く、役員・部会員一同残念でなりません。一日も早い新型コロナの終息を願っています。



●研修部会 部長/鈴木征男

来年度こそ研修部会の出番に!

研修部会は、年2回の講習会、研修旅行(交互に日帰り、1泊)を計画していましたが、皆さまご承知のとおり中止の決断をいたしました。感染防止対策は当然として、企画内容や方式を工夫して実施することを模索しましたが、どれも「長一短で断念するに至りました。次年度こそは部会の企画を実施したいと思えます。

●サロン だんらん部会 部長/平井典子

皆さまとの再会を楽しみに!

新型コロナの感染拡大で、今年度も活動を自粛しておりましたが、昨年秋には、ワクチン接種の進展と感染拡大の減少がみられたことから「だんらん」を11月に再開、12月にはクリスマス会を実施することができました。

新年になり、オミクロン株の感染拡大のため、年度内の開催を取りやめることになり残念でなりません。サロンの再開を心待ちにしてください。皆さまには申し訳なく思います。皆さまとの再会を楽しみにしております。元気に頑張りますよ。

●子育てサロン部会 「なかよしちびっこクラブ」 部長/名和博子

「なかよしちびっこクラブ」は今年度、会場を松戸三丁目東自治会館に移して実施する予定でしたが、コロナ禍により昨年秋まで開催を取りやめました。感染状況が落ち着いた昨年より再開の案内を、社協ホームページに掲載し、QRコードを利用するなど、工夫しましたが12月は中止となりました。今年、オミクロン株の劇的な流行のため、年度内開催は断念いたしました。

月に一度の開催でしたが、一ヶ月後に会えるお子さんたちの成長が楽しみでした。保健師さんによる子育て相談、離乳食のアドバイスなど、お母さん同士の交流の場としても利用していただきたいと思います。

お詫び
昨年9月発行の「ほんちよう36号」につきまして、本誌の題字(ロゴマーク)「ほんちよう」の「ん」の文字に欠落がございました。読者の皆様にはご不審とご迷惑をおかけいたしましたこと、深くお詫び申し上げます。
最終校正と最終製版工程のなかでミスがございました。今後このようなミスを起こさぬよう、広報部会一同精進してまいります。これからの「ほんちよう」に対しご意見いただきますとともにご愛護のほどお願い申し上げます。

― 編集後記 ―

昨年度に続き、地区社協の活動の多くが中止の憂き目にあい「ほんちよう」誌面の埋め種に悩む部会だった。▼スタッフの皆さんの工夫で、会食ではなく弁当配布に切り替えた会食部会。感染拡大が落ち着いたことで、秋に再開したサロンだんらん部会。写真コンクールの応募数も作品の質もステップアップしたようだ。▼今号では、区内小学校区で朝の登校時に行われている「児童の見守り」活動を広報部員が取材して紹介。降雨や風吹く日も児童の安全を願って活動する皆さんに頭が下がります。▼話題が変わる。今、また「アベノマスク」に注目が集まる。大量在庫の保管料がさまざまな。希望者を募ったはいが、その送料はなんと10億円といわれる。燃やせば6千万円で済む。▼もつと節約できないか何かに活かす方法がないかと思案はしても、これ以上血税の無駄遣いだけはご免。この思いは筆者だけだろうか?

ほんちようの耳袋爺

広報部会
堀尾 真誠 石井 榮子
中山 廣子 村上 有一
小関 昭子